

五ヶ瀬川堤防詳細点検について

河川堤防は、長い歴史の中で順次拡張されてできた構造物であり、時代によって築堤材料や施工方法が異なるため、堤防の強度が不均一であり、しかも、その分布が不明瞭であること、基礎地盤自体が古い時代の河川作用によって形成された地盤であること等から、洪水時の浸透による破堤の危険性を有しています。そのため、堤防の浸透に関する安全性の点検を緊急的に行うこととしました。

延岡河川国道事務所では、平成14年7月にとりまとめられた「河川堤防設計指針」等に基づき、河川堤防の浸透に関する安全性の照査を実施していますが、この度、平成17年度末における点検結果のとりまとめを行いましたので報告します。

今後は、未点検区間の詳細点検の完了を目指すと共に、進捗に併せて安全性が不足する区間は、その対策について検討を進めていきます。

なお、対策(ハード対策)については、長期間を要することから、対策を実施するまでの間は水防管理団体と情報を共有する等により、効果的な水防活動を図っていくよう努めて参ります。

平成17年度 五ヶ瀬川堤防詳細点検結果情報図



点検が必要な区間	37.0km
 浸透に対して安全性照査基準未満の区間	6.9km
 浸透に対して安全性照査基準以上の区間	1.6km
 詳細点検未実施区間	28.5km